

ellipse

[エリプス]

TOPICS

桜蔭塾第10回講座(2022年3月19日)より

「孤独は社会問題

～孤独対策先進国イギリスの取り組み～」

多賀 幹子 氏

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。



ワ・タ・シ

深津千鶴 FUKATSU, Chizu イラストレーター
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。



特定非営利活動法人
お茶の水学術事業会

REPORT

夢のつばさ♥プロジェクトニュース

INFORMATION

イベント情報
事務局よりお知らせ

孤独は社会問題

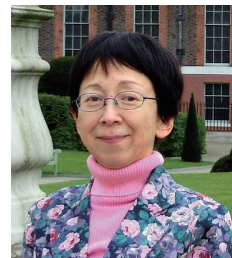
～孤独対策先進国イギリスの取り組み～

新型コロナウイルスの影響により人同士のつながりが希薄になったと言われる中、日本では、昨年2月に世界で2番目となる孤独・孤立対策担当大臣が誕生しました。しかしまだ、「おひとりさま」という言葉ほどには知られていないようです。

そこで、今回は「桜蔭塾」の孤独対策をテーマとした講義を抜粋してご紹介します。2021年7月に『孤独は社会問題-孤独対策先進国イギリスの取り組み』(光文社新書)を出版された多賀幹子氏が、イギリスの孤独対策、日本の現状と今後の展望などについてお話をされました。

多賀幹子(たがみきこ)氏
【プロフィール】

お茶の水女子大学文教育学部卒業。企業広報誌の編集長を経てフリーのジャーナリストに。1983年よりニューヨークに5年、95年よりロンドンに6年ほど住む。著書に、『中学合格はママにあり』(朝日新聞社)、『親たちの暴走～日米英のモンスターペアレント』(朝日新書)など。



1 イギリスで孤独担当大臣が誕生した経緯

イギリスでは、2018年に、テリーザ・メイ首相(イギリスで二人目の女性首相)が、世界で初めて「孤独担当大臣」を任命しました。そのきっかけを作ったのは、労働党のジョー・コックスという女性議員です。

イギリスでは選挙運動として戸別訪問を行うことが許されています。彼女は、1軒1軒、家を回ってお話をする中で、多くの方が何らかの孤独を抱えていることに気づきました。例えば、誰とも付き合わないという一人暮らしの高齢者がとても多い。あるいは、赤ちゃんや小さい子どもを抱えているお母さんは、幸せを感じつつも、大人の女性が、朝から晩まで乳幼児の相手をしていることに孤独を感じている。それから、ヤングケアラー(young carer)—自分の家族の介護をしている18歳未満の方は、ご家族の世話をするために、学校を休まなくてはならないこともあるし、他の子ども達のように放課後に友達同士でおしゃべりをしたり、部活動やスポーツをしたりといった時間を持つことができないわけです。

コックス議員は、当選後、孤独を解決することは、児童虐待、高齢者虐待、自殺などの社会問題を解決することに通じると訴えますが、志半ばで暴漢に暗殺されてしまいます。それで、彼女のレガシーを大切にしようという機運が高まり、この問題を考える超党派の委員会が組織され、孤独担当大臣の設置に至りました。

この時に、「孤独は肥満や1日15本の喫煙以上に体に悪く、孤独な人は、社会的なつながりを持つ人に比べ、天寿を全うせずに亡くなる割合が1.5倍に上がる」あるいは「孤独が原因のうつや体調不良によって従業員が欠勤したり、生産効率が低下することにより、雇用主は年に約3560億円の損失を被っている」といったデータも示されています。イギリスは非常にプラクティカルな国ですので、数字を出すことによって説得力を持たせるわけですね。

その後、孤独担当大臣は第3代目まで任命されましたが、現在はいません。「孤独はいけないものだ。孤独になっている人がいたら、皆で救い出そう。自分でも孤独にならないように前向きに生きて行こう」というメッセージはある程度国民に伝わったと、ジョンソン首相が判断したからだと言われています。

2 イギリスの孤独対策

では、実際にどのようなことが行われているか、いくつかの例を挙げたいと思います。

1) Men's shed (男たちの小屋)

これはオーストラリアで始まったと言われていて、イギリスでは、定年男性の居場所づくりとして、大変高く評価されています。男性達が、その地区にある小屋に集まりDIYをやるのです。皆で肩を並べてベンチや遊具を作って、

公園や学校などに寄付します。そうすると大変に喜ばれて、小学校の子ども達からお礼の手紙が届いたり、コミュニティの方から「ありがとう」「本当に助かっている」などと声をかけられたりします。

それまで、会社勤めで、あまりコミュニティと関わりを持たなかった男性達が、共に作業をすることを通して連帯感を覚える。さらに周囲の方から感謝される。それが生きがいに通じるということで、非常に人気があるそうです。

2) コーヒーチェーンの「おしゃべりテーブル」

これは、店内のテーブルの一つを、誰でも自由に座っておしゃべりができる場所にするという試みで、イギリス最大手のコーヒーチェーン Costa Coffee が始めました。ある育児中の女性が、一日中赤ちゃん言葉で話すような環境にあるので、たまには大人と会話がしたいと考え、いくつかのコーヒーチェーンに、「テーブルを一つだけ店内に用意していただけないでしょうか？」と声をかけたのが発端でした。

初めは数が少なかったのですが、あっという間に、全英で300店余りにまで広がりました。店員さんが、一人でコーヒーを飲んでいる方に、「あそこに自由にお話ができるテーブルと椅子を用意していますが、いかがですか？」と声をかけることもあるし、自分から進んでそのテーブルにつく方もいらっしやるそうです。誰かと話したいと思った時に行ける場があるわけですね。

3) 慈善団体の取り組み

○ ビ・フレンジングサービス

高齢者の中には、1週間誰とも話さないという方が多くいらっしやることから、AGE UK という慈善団体が、週に一回、地区の高齢者にボランティアが電話をかけるというサービスを行っています。高齢者が疲れたり、ボランティアに過度な負担がかかったりしないよう、1回の通話は30分から長くても1時間を目安にしています。

AGE UK は、電話料金を負担し、高齢者とボランティアの安全を守るとともに、両者の興味や関心を前もって聞き取り、上手にマッチングします。決まった人から毎週電話がかかってくるので、高齢者は「今度、電話がかかってくるから、どんな話をしようか」と考えるようになり、生活に張りが出てくるのだそうです。一方、ボランティアも「大変勉強になり、毎回楽しみにしています」と打ち明けます。

○ 古い道具の活用

別の慈善団体は、地域の家庭から昔の料理道具や家具を集め、公民館や図書館に展示しました。ご覧になった高齢者は、「ああ、これ使っていた」「うちはこのテレビだった」などと歓声を上げ、ひとしきり思い出話に花を咲かせたそうです。

道具を通して自分の生きてきた時代を肯定することは、自分の人生を肯定することにつながります。これがとても大事で、認知症の改善効果があるとも言われているようです。

○ 坂下り

ある NPO は、高齢者に坂下りをしてもらうという大胆なことを企画しました。緩やかな土手にビニールシートを敷き、厚手のクッションを重ね、滑ってもらったのです。もちろん、この団体は、試行錯誤を重ね、これなら大丈夫と判断したうえで実施したわけですが、さすがに危険ではないか、高齢者自身が怖くて尻ごみするだろう、という声が上がりました。

しかし、実際には、1度でやめた参加者はおらず、皆さん2度、3度と滑りたがったそうです。高齢者はこういうものだ、若い世代が決め付けてはいけないということでしょうか。

○ 逮捕された 104 歳の女性

また別の慈善団体が行っている Wishing Washing Line というプロジェクトがあります。地元のスーパーマーケットに高齢者なら誰でも願い事を書いて入れられる箱を設置し、投函された願い事は、店内の物干し用ロープに吊るされます。

その中の1枚に、104歳の女性の「逮捕されてみたい」という願いがあるのを地域の警察官がを見つけました。まもなく地元警察は、彼女の暮らす老人ホームに逮捕に向かい、「これまで104年間、あなたは善良な市民でした。それが逮捕理由です」と告げると手錠をかけ、パトカーに乗せ、サイレンを鳴らして近所を回りました。彼女は「なんてエキサイティングだったでしょう」と大喜びだったそうです。

こうした活動は、老人ホームにいらっしやる高齢者は意外と孤独であるという認識からスタートしています。老人ホームのスタッフの方々も一生懸命なさっているわけですが、お一人お一人の夢をかなえるところまでは、なかなか手が回らない。私自身、この点には思い至らなかったなと思いました。

4) イギリスの孤独対策の特徴

このような地域、企業、団体の取り組みだけでなく、配偶者を亡くした男性が個人的に、「話し相手が欲しい」と自宅の窓に張り紙をしたり、地域のコミュニティ紙に掲載したところ、大きな反響があり、地元の学校の子供達と交流するようになったという例もありました。

これらに共通しているのは、お金をかけずに、知恵と時間を出している点です。コミュニティの理解と協力も必要不可欠です。イギリスの孤独担当大臣は、孤独がもたらすダメージを周知徹底し、こうした取り組みを加速させる役割を果たしたと言えるでしょう。

3 日本の現状

1) 孤独・孤立担当大臣の設置

日本では、「孤独」だけではなく「孤立」をつけました。内閣官房の孤独・孤立対策担当室が様々なことをおやりになり、HPには相談窓口も紹介されていますが、正直、あまり身近ではないというか、発信力が弱いように感じられます。



https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kodoku_koritsu_taisaku/

現在の大臣はお二人目、野田聖子さんです。私は、雑誌『AERA』の「孤独」特集（2022年3月7日号）で、インタビューをしました。

その時に、日本の社会制度は申請主義のため、当事者が手探りで必要なサービスを探し出して、申請をしないと支援が受けられないという話をしました。野田大臣もこの点を問題視しておられ、孤独・孤立対策では、支援を求めに来るのを待つのではなく、誰もが身近に相談窓口を持ち、アクセスできるように考えていきたい。さらに、「こういう福祉制度がありますよ」とプッシュ型の支援ができる体制を整えていきたいということをおっしゃっていました。

2) ご著書『孤独は社会問題』への反響

昨年出版した『孤独は社会問題』は、かなり注目され、いくつかの週刊誌や新聞で取り上げていただいたり、この問題について話して欲しいとお声がかかったりしました。それだけ「孤独」が深刻になっており、何からどうやったらいいいのかのわかりがたい、という状況なのだろうと感じております。

読者の方からは、日本は、いつからこんなふう他人に冷たい国になったのだろう、と嘆く言葉が多く寄せられました。少し前までは、ご近所同士で「ちょっとお醤油を貸

して」「ちょっと子どもを見ていて」というようなやり取りがあったが、今は何でも「自己責任」と言われ、困っている人を助ける雰囲気なくなりました。それから、家庭というものがあまり機能しなくなってきているのに、それに代わるセーフティネットができていない。助け合いのコミュニティが育っていないと指摘された方もありました。

それから、「AGE UKの電話サービスの日本版はありませんか？ないのであれば、何とか作れませんか」というお話をいただきましたし、「高齢者の夢を叶えるような活動を何か立ち上げたい」という方もいらっしゃいました。日本にもそういう芽が育ちつつあります。

3) 今後に向けて

私が知る限り、欧米で『極上の孤独』とか『孤独死のすすめ』とか『おひとりさまの〇〇』というタイトルの本が出版されてベストセラーになることはまずありません。日本には「孤高」という言葉があり、一人で凛として生きている姿を理想と考えるような美学があるのかもしれませんが。

一方、欧米には、孤独はいけないものであり、コミュニティの中で孤独な人を作ってはいけないという空気が元々あるように感じられます。社会インフラにもそれが表れていて、例えば、イギリスの横断歩道には、信号を渡り切れない高齢者のために、真ん中にアイランドと呼ばれる休み場所があります。また、電車の駅は町はずれにあり、街中に歩道橋や踏切はありません。生活を邪魔しない、社会的弱者の眼から見たインフラになっているわけです。

私は、日本の踏切で、高齢者の方が押し車を押しているのを見かけると、線路の溝にタイヤがはまってしまうのではないかとハラハラしてしまい、なるべくその横を一緒に歩くようにしています。コロナの影響もあり、誰もが孤独になりうる社会だと思います。すぐに結論を出せる問題ではありませんが、私達一人一人が、孤独な人達に目を留めて、できるのであれば、救いの手を差し伸べたいというような心構えでいたいと思います。

協力：一般社団法人 桜蔭会



桜蔭塾のHPもご覧ください。
<https://www.ouinjuku.com/>





夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。

2021年度も新型コロナウイルス感染症のために、夏・冬のキャンプ活動は行うことができず、子どもたちと直接会う事ができたのは、短時間の日帰り交流イベント1回だけでした。

この間も、夢のつばさプロジェクトには、大学生スタッフ20名が所属し、オンラインの企画、手紙や交換日記、受験生の勉強支援等、工夫して活動を続けてくれました。

1月には、この活動が始まった頃からキャンプに参加し、大学や専門学校に進学している3名が成人の日を迎えました。例年、冬キャンプか春の交流会で、20歳のお祝い企画を行ってききましたが、今回はそのような機会を設けることができずにおりましたところ、OG数名が、「子どもたちが20歳になるまで見守る」という夢のつばさの約束を守りたいと、オンラインの『20歳お祝いプロジェクト』を企画しました。20歳を迎えた仲間が、夢のつばさと関わったことを喜び、「これから先も頑張ろう」という気持ちを新たにしたいと、現在のメンバーたちの様子やこれまでのキャンプの写真を動画に編集して、お祝いを実施しました。常に細やかに子どもたちのことを思って企画を立て、活動する学生・OBOGスタッフたちを頼もしく感じました。



うち2名は夢のつばさプロジェクトで見守ってきた子どもたちです。心温かくとも頼りになる仲間たちとともに、ぜひキャンプを再開できるよう願っております。

また、大学や専門学校に進学した子どもたちを対象とする『夢のつばさ奨学金』は、本年度は8名に授与します。ささやかな額ですが、学生生活の充実に役立ててほしいと願っています。このうち、東京の大学に進学した1名は、昨年度は学生ボランティア副代表として活躍しました。東北の大学に進学した学生も、交流会に参加したいと待っています。



10年以上にわたり変わらず本プロジェクトをご支援くださる方々がいらっしゃるからこそ、長引くコロナ禍の中でも、様々な形で、子どもたちとの交流を続けることができいております。改めまして心より御礼申し上げます。支援者の方々へ御礼と報告を兼ねて送付している「夢のつばさ通信」は、昨年度は19、20、21号を発行しました。お読みくださって、寄付を賜ったり、ご感想やエールを送ってくださる方があつたり、夢のつばさのもたらす交歓に感激しております。

日本の社会生活や経済情勢は厳しさを増しており、子どもたちが成人し、社会に出てからも、さらなる支援が必要となることもあるだろうと思われまます。カウンセリングや啓発・スキルアップセミナー等についてご助言くださる方もあり、新たな試みもいくつか始動しています。スタッフや支援者の方々と共に、夢のつばさプロジェクトの今後の在り方・進め方を検討していきたいと考えておりますので、引き続きよろしく願い申し上げます。

(夢のつばさ♥プロジェクト)

ご寄付のお願い

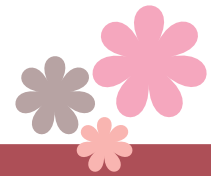
【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通1284200

【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子 ※夢のつばさ♥プロジェクトの専用口座です。

※恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

ご寄付いただく際には、ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせください。

連絡先:事務担当 滝澤公子 TEL&FAX:03-5978-5362 E-mail:tsubasa@npo-ochanomizu.org



お茶の水女子大学 イベント情報

2022年7月以降に開催される各種イベントのお知らせです。

開催日時	イベント・講座名	備考
7月 16日(土)・ 17日(日)・ 18日(月・祝)	OCHADAI OPEN CAMPUS 2022 学科・講座・コース別説明会のほか、新フンボルト入試説明会・合格者座談会など、様々な企画を準備しています。(要事前申込)	【会場】 オンライン (Zoom) 【主催】 お茶の水女子大学 【詳細】 https://www.ocha.ac.jp/index.html 【問合せ】 お茶の水女子大学企画戦略課 (広報担当) info@cc.ocha.ac.jp
① 7月19日(火) 18:00～19:00 ② 7月20日(水) 9:00～10:30 ③ 7月21日(木) 18:00～19:30	サマープログラム特別講演会 グローバルリーダーシップ研究所オンラインセミナー 【講師】 ① キャシー松井氏 (MPower Partners ゼネラルパートナー) ② 小泉高子氏 (JICA 東京事務局 副所長) ③ 杉村美紀氏 (上智大学 教授)	【会場】 Zoom によるオンライン開催 (使用言語: 英語) 【共催】 サマープログラム, グローバルリーダーシップ研究所 【対象】 本学学生, 教職員, Ocha Summer Program for Global Leaders 履修の本学協定校生 【詳細】 https://www.cf.ocha.ac.jp/summerprogram/ 【申込み】 HP 内の専用フォームにて 【問合せ】 ocha-summer@cc.ocha.ac.jp
7月22日(金) 16:40～18:10	グローバルリーダーシップ研究所セミナー 【講師】 新井鷗子氏 (横浜みなとみらいホール館長, 東京藝術大学 客員教授)	【会場】 国際交流留学生プラザ 2 階多目的ホール 【主催】 グローバルリーダーシップ研究所 【対象】 本学学生, 教職員, 一般 【定員】 先着 80 名 【詳細】 https://www.cf.ocha.ac.jp/igl/index.html 【申込み】 HP 内の専用フォームにて 【問合せ】 info-leader@cc.ocha.ac.jp
7月31日(日) 10:00～12:00	第3回 グローバル講演会 【講演者】 Natalia Rzepecka 氏 (本学大学院人間文化創成科学研究科 ライフサイエンス専攻 博士後期課程 2年) 河島友和 氏 (ケンタッキー大学植物土壌学 Assistant Professor)	【会場】 Zoom によるオンライン開催 【主催】 お茶の水女子大学理系女性育成啓発研究所 【対象】 女子中学生・高校生, 保護者, 教員 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/ 【申込み】 HP 内の専用フォームにて 【問合せ】 ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp
8月6日(土) 1) 9:00～12:00 2) 14:00～17:00	第1回・第2回 陸の植物観察会 【講師】 岩崎貴也 氏 (本学理学部生物学科 講師)	【会場】 お茶の水女子大学 【主催】 お茶の水女子大学理系女性育成啓発研究所 【対象】 女子中学生 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/ 【申込み】 HP 内の専用フォームにて 【問合せ】 ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp
8月7日(日) 14:00～16:15	第2回 教員・保護者対象セミナー 【講演者】 浜崎浩子 氏 (北里大学一般教育部 教授) 溝口 恵 氏 (本学附属高等学校 副校長) 藪部幸枝 氏 (本学附属中学校 教員)	【会場】 Zoom によるオンライン開催 【主催】 お茶の水女子大学理系女性育成啓発研究所 【対象】 教員, 保護者 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/ 【申込み】 HP 内の専用フォームにて 【問合せ】 ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp
8月21日(日) 13:30～15:00	第1回 クイズから始めるサイエンス 【講師】 本学大学院人間文化創成科学研究科博士前期課程 2年生 3名	【会場】 お茶の水女子大学 【主催】 お茶の水女子大学理系女性育成啓発研究所 【対象】 女子中学生 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/ 【申込み】 HP 内の専用フォームにて 【問合せ】 ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp
8月25日(木) 14:00～15:30	第2回 リーダーシップセミナー 【講演者】 渡邊享子 氏 (株式会社巻組), ほか 1名 横田響子 氏 (株式会社コラボ)	【会場】 Zoom によるオンライン開催 【主催】 お茶の水女子大学理系女性育成啓発研究所 【対象】 女子中学生・高校生, 女子大学生・大学院生, 保護者, 教員 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/ 【申込み】 HP 内の専用フォームにて 【問合せ】 ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp
8月28日(日) 14:00～16:00	第2回 働き方講演会 【講演者】 吉葉諒子 氏 (SAP ジャパン株式会社) 門松裕也 氏 (株式会社コーサー)	【会場】 Zoom によるオンライン開催 【主催】 お茶の水女子大学理系女性育成啓発研究所 【対象】 女子中学生・高校生, 女子大学生・大学院生, 保護者, 教員 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/ 【申込み】 HP 内の専用フォームにて 【問合せ】 ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp
9月17日(土)	第24回国際日本学シンポジウム 「沖縄の祖先祭祀と墓」	【会場】 お茶の水女子大学 【主催】 コンピテンシー育成開発研究所・比較日本学教育研究部門 【詳細】 決まり次第、下記の HP に掲載します。 https://www.cf.ocha.ac.jp/ccjs/index.html 【問合せ】 比較日本学教育研究部門事務局: ccjs@cc.ocha.ac.jp

開催日時	イベント・講座名	備考
9月25日(日) 14:00～15:30	第2回 フロントランナーセミナー 【講演者】 丸山千秋氏(公益財団法人東京都医学総合研究所) 八角優子氏(トム通信工業株式会社)	【会場】 Zoom によるオンライン開催 【主催】 お茶の水女子大学理学系女性育成啓発研究所 【対象】 女子中学生・高校生, 女子大学生・大学院生, 保護者, 教員 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/ 【申込み】 HP 内の専用フォームにて 【問合せ】 ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp

2022年度 ブータン連続セミナー

【会場】 Zoom によるオンライン開催

【主催】 グローバル協力センター、日本ブータン研究所

【対象】 お茶の水女子大学関係者・一般

【参加費】 無料

【問合せ】 グローバル協力センター講師 平山雄大 E-mail: hirayama.takehiro@ocha.ac.jp

開催日時	イベント・講座名	備考
2022年 7月2日(土) 14:00～16:00	2022年度第6回ブータン連続セミナー (第156回ブータン勉強会) 「映像作品を通してブータンの諸相を学ぶ⑯」	【詳細】 https://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/event/e20220702.html 【申込み】 https://bit.ly/3r2aPpt
7月16日(土) 14:00～16:00	2022年度第7回ブータン連続セミナー (第157回ブータン勉強会) 「映像作品を通してブータンの諸相を学ぶ⑰」	【詳細】 https://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/event/e20220716.html 【申込み】 https://bit.ly/3HIFXAd
8月13日(土) 14:00～16:00	2022年度第8回ブータン連続セミナー (第158回ブータン勉強会) 「映像作品を通してブータンの諸相を学ぶ⑱」	【詳細】 https://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/event/e20220813.html 【申込み】 https://bit.ly/3r2xXnY
9月10日(土) 14:00～16:00	2022年度第9回ブータン連続セミナー (第159回ブータン勉強会) 「映像作品を通してブータンの諸相を学ぶ⑲」	【詳細】 https://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/event/e20220910.html 【申込み】 https://bit.ly/3nEulGu
9月24日(土) 14:00～16:00	2022年度第10回ブータン連続セミナー (第160回ブータン勉強会) 「映像作品を通してブータンの諸相を学ぶ⑳」	【詳細】 https://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/event/e20220924.html 【申込み】 https://bit.ly/3FGjrWm

お茶大女性リーダー育成塾：徽音塾 2022年度

詳細と各申込は、徽音塾ホームページ <http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/> をご覧ください。 ※「きいんじゅく」で検索可能です。

2022年度 開催概要

時間	13:30～16:40(すべて土曜日)
形式	Zoom を使うオンライン講座 ※ PC での受講を推奨します。 ※ 1科目から受講いただけます。 ※ 最新情報は HP、Twitter を ご覧ください。



HP



Twitter

2022年7月末～2023年2月開催の講座

お茶大プロフェッショナルレクチャー(P)3科目、ビジネス講座(B)6科目を開講します。

※1科目から受講いただけます。

2022年 開講科目	
(B)	7/30・働く女性のための会計学「会計基礎力を身に付けるー取引記録の仕組みと企業活動の成績表ー」(櫻井康弘)
(P)	9/3 SDGsについて学ぶ②「私たちが地球の健康～食べ過ぎと食べ残しを減らすために何ができるか～」(赤松利恵)
(P)	9/10 SDGsについて学ぶ②「環境科学から見たごみ問題とSDGs」(中久保豊彦)
(P)	9/17 SDGsについて学ぶ②「生態学から土地利用の将来を考える」(服田昌之)
(B)	10/15・働く女性のためのイノベーション創出方法「新規事業開発に効く！イノベーション創出の思考法」(鹿住倫世)

(B)	11/15・働く女性のためのマーケティング「マーケティング入門」(神原理)
(B)	12/3・働く女性のための表現力とコミュニケーション術「文字・声・画像が創り出す印象とコミュニケーションへの応用」(内藤章江)

2023年 開講科目

(B)	1/14・働く女性のための意思決定とセルフエフィカシー「貴女のリーダーシップを磨く よりよいキャリアを積むために」(高田朝子)
(B)	2/11・働く女性のための法政策・法制度「働くあなたを守る、知っておきたい労働法」(内藤忍)

【入塾料および受講料】

★2022年度 入塾料(税込) 初回申込時のみ必要となります。

お茶の水女子大学の卒業生・修了生 法人等団体からの申込	無料
その他(上記以外の個人で申込の方)	1,100円

★2022年度 受講料(税込)

(B) ビジネス講座(全4科目) 1科目 15,400円 ※2日分
(P) お茶大プロフェッショナルレクチャー 1科目 7,700円

<お問い合わせ・連絡先>

お茶大女性リーダー育成塾：徽音塾 事務局

E-mail: kiin-le@cc.ocha.ac.jp

桜蔭会よりご案内

桜蔭塾

懐かしいお茶大の先生方や、桜蔭会会員の方を講師に迎え、オンラインでお話を聴くことができる、会員と在学生のための学びの場です。

桜蔭塾 HP には、これまでに開講した講座の報告（講演要旨と受講者からの感想）が掲載されていますので、ぜひご覧ください

詳細：<https://www.ouinjuku.com/>

お問い合わせ：<https://www.ouinjuku.com/toiawase>

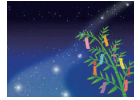


2022年7月に降に予定されている講座・イベント

開催日時	開催方法	講師	テーマ
7月12日(火) 11:00-12:00	Zoom	水村真由美氏(お茶の水女子大学 教授)	オンラインダンス教室
9月11日(日) 14:00-15:30	Zoom	石井クツツ昌子氏(お茶の水女子大学 副学長)	「家庭内性別役割分業から考える男女平等参画～男性の育児・家事に注目して～」
11月26日(土) 14:00-15:30	Zoom	五戸美樹氏(フリーアナウンサー)	「声が良くなる話し方」～普段の声をもっと素敵に～

第1回 桜蔭塾フリートークイベント

「ご当地自慢の美味しい ippin(イッピン)」



【開催日時】7月9日(土) 14:00-15:30

【開催方法】Zoom 【参加費】無料

【お申込み受付】5月15日(日)～7月5日(火) 申込受付中

【内容】7月の桜蔭塾は、参加型のフリートークイベントです。これまで聴くだけでウズウズしていた方、参加するチャンスです！もちろん聴くだけでいいという方も大歓迎。どうぞお気軽にご参加ください。

★あなたの「ご当地自慢の美味しい ippin(イッピン)」を語っていただくパネラーを大募集中！

【就活応援企画】

「ZoomでOG訪問」アドバイザー大募集

ご自身の就活のご経験談を中心に、Zoomで30分ほど学生とお話していただけませんか。

お申込み：<https://forms.gle/hP7rBQ123vVgG7pS7>

お問い合わせ：ouinkai.mentor@gmail.com



お茶の水学術事業会事務局よりお知らせ

1. 2021年度活動報告

(1) 教育研究活動事業

- 国内学会の企画運営、国際学会等の準備事業
 - 学会事務代行業務 (10件)
- 講演等の講師派遣幹旋等事業
 - 共催講演会 (1件) — 桜蔭会愛知支部公開講演会 (2021年4月25日、講師：藤原葉子氏)
- 学術・調査・研究・教育等の活動運営支援事業
 - 講演録作成 (2件)
 - HP管理請負 (2件)
 - イベント情報のメール配信 (4件)
 - 「夢のつばさ♥プロジェクト」
(<https://www.npo-ochanomizu.org/tsubasa/>)

(2) 学術関連等の出版事業

- お茶の水女子大学 E-book サービス 製本版販売

(2) 男女共同参画社会のための啓発事業

- 機関紙(誌)、教育・研究等に関する啓発書の発行
 - 会報「ellipse」第55-57号発行
 - お茶の水ブックレット12発行
『グローバルリーダーとは—今、そして未来に向けて—』
- ホームページの開設・運営
<https://www.npo-ochanomizu.org/>

2. ご入会・ご寄付 ※随時受け付けております。

○ 会員区分と会費額

一般(正会員/賛助会員)	年会費 106,000円 10~
終身(正会員/賛助会員)	入会時のみ 50,000円 (70歳以上の方)
法人会員	年会費 1030,000円 10~

※正会員には議決権があります。

○ 会費・ご寄付のお振込先

【振込先】ゆうちょ銀行(郵便振替口座)

【口座番号】00100-3-583029

【口座名義】特定非営利活動法人お茶の水学術事業会

※所得税の寄付金控除の対象にはなりません。

※ご寄付いただく際には、ご芳名、ご住所(連絡先)をお知らせください。

◆ご寄付の報告◆

金1万円 マツナガミドリ様

心より御礼申し上げます。

【ご連絡・お問合わせ】

お茶の水学術事業会事務局

Email: info@npo-ochanomizu.org

TEL: 03-5976-1478 (月～金 10時～16時)

編集後記

「明日死ぬかのように生きよ。永遠に生きるかのように学べ」(マハトマ・ガンジー) 最近心に響いた言葉の一つです。自分にはない視点と出会い、少なからずショックを受けました。「孤独」に関する多賀氏のお話も同様でした。「おひとりさま」との違いは何なのでしょう?

広告募集

このページに広告を掲載しませんか?次号は2022年10月に2500部発行予定です。会員の皆様はじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1回につき20,000円。詳しくは下記までお問合わせください。

事務局

OPEN 月～金 10:00～16:00

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学 理学部 3号館 204

TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail: info@npo-ochanomizu.org

<https://www.npo-ochanomizu.org>

※会員の方は、お問合わせの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。



◆事務局所在地

東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学
理学部3号館204

◆交通機関

地下鉄 丸の内線

茗荷谷駅から徒歩7分

地下鉄 有楽町線

護国寺駅から徒歩8分

都バス

大塚2丁目バス停すぐ